



横須賀市立夏島小学校 学校だより

～夏小タイム～

# なっつ ShowTime



校長 山崎 亨

## もしもの時に備えて・・・避難訓練(予告なし)から

先週、全校児童と多くの教職員には避難訓練があることを一切伏せたまま、訓練を実施しました。中休み時間に地震が発生し、その後に火災が発生するという想定です。

休み時間が始まって間もなく、突如地震発生 of 校内放送が入りました。きっと何が起こったのか戸惑う子や、周囲に先生が見当たらない子にとっては不安を感じたことでしょう。校庭では身を伏せてその場にしゃがみ込み、放送の指示を待つ子どもたちの姿がありました。



放送からおよそ5分。各学年の避難が完了しクラスごとに本部へ人数報告を済ませている時、一クラスに避難していない児童がいるとの報告が飛び込んできました。すぐさま検索教員が校舎に戻り、各階教室へ不明児童の捜索に向かったのです。これには状況説明をうけた他の児童もざわつき、心配そうな顔も……。じつはこれも訓練内容の一つで、当該児童には校舎内に留まってもらう役をお願いしていました。



実際の有事にはこれよりも多くの不明者が現れてもおかしくありません。今回はより現実味を帯びた訓練を計画し、実施したというわけです。

これまでの避難訓練で、私から子どもたちには「自分の命は自分で守る」という話を繰り返し伝えてきました。今回の訓練は休み時間中で担任や大人が必ずしも近くにはいないという想定の中、どのように行動しなければならないか、つまり自分で判断し行動することが重要となります。訓練の後、私から子どもたちには以下のような内容を話しました。

まず地震が発生した時に教室にいた場合は、窓や棚など、ガラスが割れたり物が飛び出しそうな場所から離れること。机の下に身を伏せ、机の脚をしっかりとつかむこと。運動場などにいるときは周囲を確認して、その場でしゃがんで、揺れがおさまるのを待つこと。



次に火災が起きた時には「早く逃げ始める」「煙を吸わない」「絶対に戻らない」こと。命を守ることを最優先に、煙を吸わないよう口と鼻をタオルやハンカチでおさえ、姿勢を低くして逃げる。そして火事の現場へは絶対に戻らないこと。

地震は、いつ、どこで発生するかわかりません。周囲に教職員や大人がいない状況も十分に考えられます。そのため、有事が起きる前に、子どもたちには防災に対する心構えや判断能力が、そして我々教職員には危機管理体制の整備が求められます。地震を未然に防ぐことはできませんが、日頃の学習や訓練によって、被害を最小限に食い止めることはできます。

今後も計画的に防災学習や避難訓練を続けていきます。ご家庭においても避難の際の事前の備えを確認していただければと思います。

## 5年生 落語の世界をどっぷり満喫！

5年生の国語の教科書に、「古典芸能の世界」という学習があり、その内容に落語が取り上げられてい



ます。今回、古典芸能の世界をより深く理解し、興味を持ってもらうために落語家さんをお招きした出前授業が行われました。

お越しいただいたのは瀧川鯉丸(たきがわこいまる)さんという方で、横須賀育ちの方です。5年生に向けて「今日は落語を

楽しんでもらうために来ました」のあいさつから始まり、その後は鯉丸さんの話術に全員がどっぷりと引き込まれ教室は終始大爆笑に包まれました。



小話あり、扇子と手ぬぐいを使った仕草表現あり、最後は古典落語の「牛ほめ」を一席披露していただき、あっという間の一時間となりました。子どもたちは本物に触れ、落語の世界を味わい満喫したひと時となったことでしょう。